

環境学習会 「湿地の保全活動を体験しよう」

秋晴れの中、長久手湿地保全の会と共催で環境学習会を開催しました。湿地の大切さや湿地の植物を観察し、その後、参加者に湿地の保全活動を体験していただきました。



日時:令和7年11月15日(土曜日)14時00分~16時00分

場所:二ノ池湿地群

参加人数:7人 天気:晴れ

湿地を守るための約束

会に先立ち、湿地の環境を守るための「3つの約束」を説明しました。

① 持ち込まない

他の場所から種や生き物を持ってきて放さないでください。

② 持ち出さない

湿地の植物や動物をとって湿地の外に持ち出さないでください。

③ 踏み荒らさない

痩せた土地に生きている湿地の植物はとても弱いので、踏み荒らさないでください。



ホザキノミミカキ
グサ



ミミカキグサ

二ノ池湿地群の現状

続いて、実際に湿地に入っていく、湿地保全の会から、次のように説明がありました。

『二ノ池湿地群は、谷間や斜面に成立する小規模な湧水湿地で、貧栄養な湿原で狭い面積であること、この地方固有の植物や昆虫が多く見られるといった特徴があります。

湿地は、これまでは、土砂崩れなどにより土壌が剥ぎ取られ、新たな湿地が生まれることで湿地の植物たちが生き残ってきました。

しかし現在、開発などの影響で湿地全体の数が減り、新たな湿地も生まれにくい状況であるため、その環境と動植物を守り育てていく必要があります。』

現地では、トウカイコモウセンゴケ、ホザキノミカキグサ、ミミカキグサなど、湿地固有の植物が見られました。

みんなで草刈り

次に、「湿地保全活動の体験」を行いました。具体的には、「草刈り」です。背の高く、水を吸い上げる力が強い雑草などを草刈りすることで、湿地にしか生きられない弱い植物を守ることができます。草刈り鎌をもって、二手に分かれると、保全の会も参加者も混ざって、楽しく談笑しながら、草刈りに取り組みました。30分ほどの体験でしたが、心地よい疲労と達成感がありました。

参加者のコメント(一部抜粋)

- ・ 長久手の中にこういった自然があるのは素晴らしいと思いました。きっと季節によってちがう表情がみれると思うのでまた見てみたいです。
- ・ 自然を守る事に皆様一生懸命で素晴らしい活動だと思います。また参加したいです。
- ・ あっという間の時間で楽しく保全活動に参加させていただきました。場所が変わると湿地も変わり観察がとても楽しかったです。



湿地の動植物を観察



湿地保全活動として草刈りを体験



最後に保全の会と参加者全員で記念撮影